



佛事の常識・非常識



Q:幽霊にお経は効きますか？A:お経は幽霊のためのものではありません

クリスチャンだった、作家の故・遠藤周作さんが「幽霊を見たと思って恐ろしくなったらどうする？」という会話を友達としていた時の話です。「お前はクリスチャンだから、アーメンを唱えるんだろうな」と友達が言うと、遠藤さんは「馬鹿言え。アーメンなんて言ったら日本の幽霊には通用しないから、南無阿弥陀仏をとるよ」とジョークでかわしたそうです。お念仏は、苦しい時に仏にすがる呪文のように思われていますが、そうではありません。称えて助けてもらうのではなく、称えることが救いなのです。幽霊を見たとか、死の恐怖や地獄の苦しみから逃れたいとか、我々の動機は何であれ、お念仏を称えることができるようになるのが救いです。法然さん・親鸞さんはそう了解したのです。そうすると、お念仏の教えを説いたお経が幽霊に効くかどうかというよりも、まずあなたが救われるために一番よく効くということです。お経を幽霊のためのものにせず、お経に説かれた仏の心はあなた一人を救おうと立ち上がっていることを忘れないで下さい。

寺ともさん・こぼれ話

今月も、たくさんの方から励ましの言葉を頂きました。被災者のホームステイは、まだ要請がなく実現していませんが、宮川さん、国安うどんさん他多くの方が気にかけて下さいました。また「こころの叫び窓口はいい」と直接お寺に伝えに来られた方もいらっしゃいました。「多くの方々の幸せづくりに、大きな貢献をされているお姿に感動です」はヨーガ道友会の倉本先生から頂いたお言葉です。先生の万分の一でも頑張りたいです。「春の着付け教室」と「福祉講座」にも声が寄せられました。「…珍しい大きな大きないちご大福にテンションが上がり↑↑ちゃっかりお茶の立て方まで教えていただき勉強になりました。住職も奥様も写真を撮ろうと声をかけていただいたとき、とってもとっても嬉しかったです。また、認知症のお話では、鼻腔栄養だった祖父を思い、涙がでました。…」と。これも柘植先生やお抹茶スタッフをして下さった宮武さん、そして藤田浩子先生の思いが伝わっている確かな証拠として紹介させて頂きます。お寺が人と人を「つなぎ」の役が出来て何よりです。

ご自慢のペットちゃん

名前：チーちゃん

性別：♀

お年：12歳

種類：シーズー

好物：桃とか果物

苦手：よその犬

住所：山本さん宅(岡山市)

性格：内弁慶



ペットちゃんを募集しています

エピソード：もう12年前ですが、山本家に手のひらの上に載せられる程、小さいシーズー犬がやって来ました。それくらい小さいので名前は「チーちゃん」にすぐ決まりました。とにかく目の中に入れても痛くないほど可愛いそうで、実の子や孫がうらやましがるとか。今回プロにメイクしてもらったチーちゃんを撮影し、あまりにいい写真だったので、このコーナーに応募して下さいました。とっても可愛らしいですね♪ありがとうございました。

RNC西日本放送「気ままにラジオ」ラジオカー取材



3/28午後3時40分放送

RNC西日本放送「気ままにラジオ」のラジオカーが徳成寺にやって来ました。左の写真はインタビューアンの古茂田 圭さんです。震災への徳成寺の取り組みを取材して頂きました。皆さんと力を合わせて大震災を乗り越えましょう。

おまけ

今回の「新鮮なご会」では、東日本大震災への救援金が、37,012円集まりました。全額、日本赤十字社を通じて被災者の方へ送ります。暖かいお心をありがとうございました。

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。